

業務加工用キャベツの4月どり用として有望な品種と定植時期を選定

【研究のポイント】

本県では、増加する業務加工用キャベツの需要に対応する産地の育成を推進し、周年安定供給を目指しています。しかし、本県における4、5月出荷に関する栽培技術が明らかでなく、適した品種や定植時期などについても不明でした。
そこで、まず4月どりに適した品種および定植時期を明らかにしたので紹介します。

＜業務加工用キャベツの4月どり用として有望な品種と定植時期＞

4月どりに有望な品種と作型(定植時期)の組み合わせとして次のように選定しました。

- ・4月上旬収穫・・・「夢舞妓」(タキイ種苗)9月下旬定植
- ・4月中旬収穫・・・「彩音」(タキイ種苗)10月上旬定植
- ・4月下旬収穫・・・「YR冬まさり」(中原採種場)10月上旬定植



夢舞妓



彩音



YR冬まさり

【研究の成果】

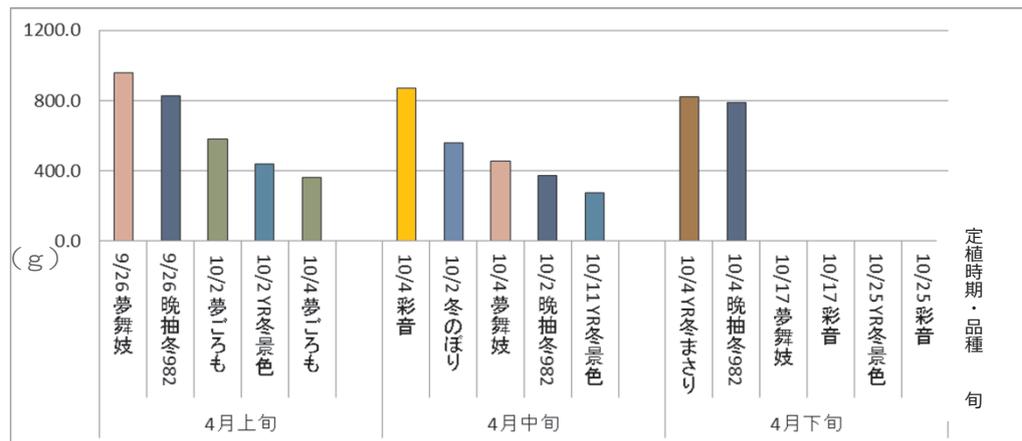


図1 4月各旬ごとに収穫した品種・定植時期別の株あたり調製重 (g)

注) 栽植様式：うね幅120cm、株間34cm、2条千鳥植え
試験規模：1区36株3反復、調査10株/区
4月下旬収穫について、結球しなかった株は測定不能とした。

＜生産現場への普及＞

平成30年度は県内産地で実証試験を行う予定です。

【生産者の声】

4月、5月どり作型による生産安定のため、試験場と協力して実証試験に取り組んでいます。適正品種の選定は部会では難しいので、研究部の成果に期待しています。
(JAおおいた県北キャベツ部会 役員 早瀬吉政氏)



【連絡先】

担当：農林水産研究指導センター 農業研究部 葉根菜類・茶業チーム
TEL：0974-28-2082
住所：大分県豊後大野市三重町赤嶺2328-8